平成 19 年度　第１回　ようこそ考古学

神奈川の古墳

（財）かながわ考古学財団　柏木 善治

香淳皇后　武蔵野東陵

伊勢原市　小金塚古墳

２００７．５．１７(木)　横浜市西区公会堂

①はじめに

・古墳の形
・墳丘の状態
・埋葬施設(竪穴系)
・副葬品

②前期の古墳(出現期)

・真土大塚山古墳と同笵鏡
・秋葉山古墳群

③長柄桜山古墳群

・史跡整備に向けた調査
・範囲確認調査
・壺形埴輪
・墳丘の造成
・墳丘の規模と墳丘比率

④いろいろな古墳

・加瀬白山古墳（関東の木炭槨）
・愛甲大塚古墳
・社家宇治山遺跡
・甲斐銚子塚古墳

⑤相模の古墳編年

・地域内の傾向
・特徴的な画期

⑥まとめ

・神奈川県から見た古墳時代

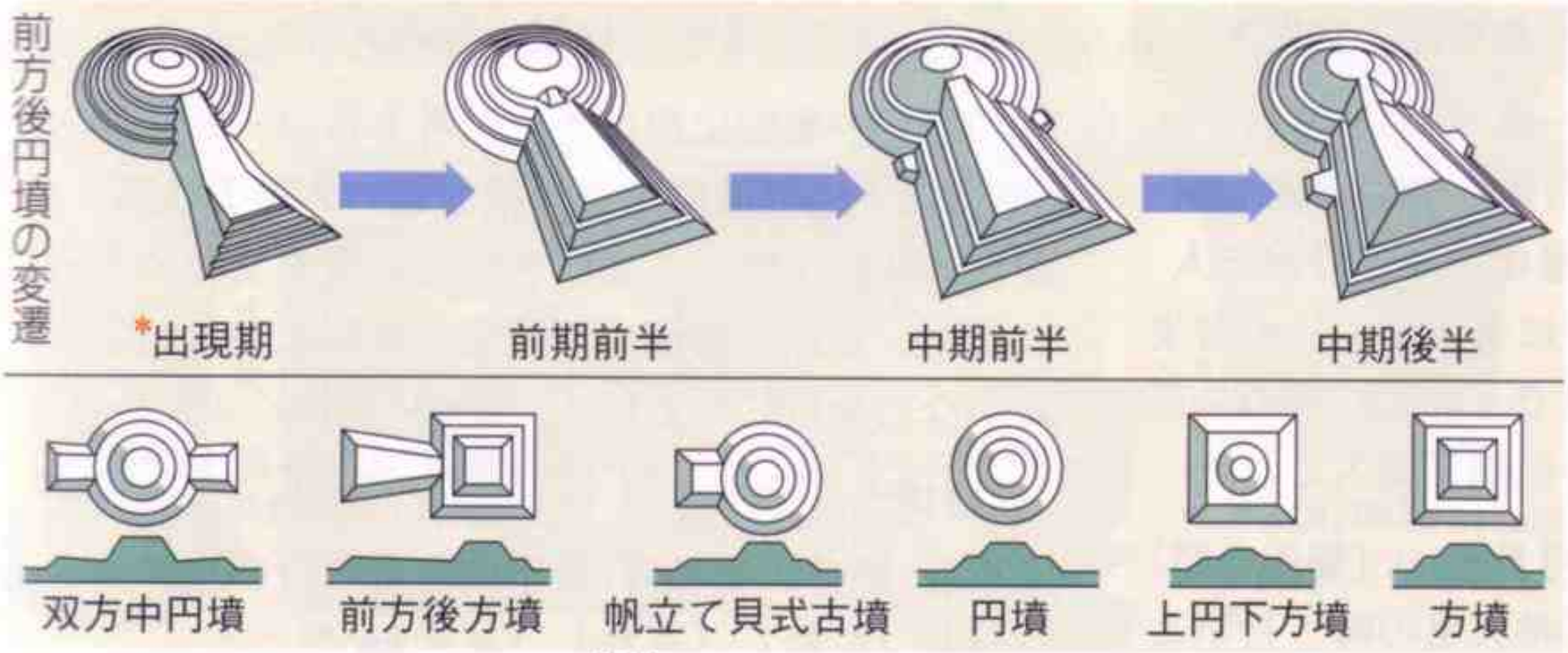
■参考文献■

1953 柴田常恵・森貞成『日吉加瀬古墳』三田史学会 1953
1996 川崎市市民ﾐｭｰｼﾞｱﾑ「加瀬台古墳群の研究Ⅰ」『川崎市市民ﾐｭｰｼﾞｱﾑ考古学叢書』２
2000 神奈川県教育委員会・(財)かながわ考古学財団『長柄・桜山第１・２号墳　－新発見の大形前方後円墳の概要－』(カラー図録)
2001 神奈川県教育委員会・(財)かながわ考古学財団『長柄・桜山第１・２号墳　測量調査・範囲確認調査報告書』
2001 平塚市博物館『相武国の古墳　－相模川流域の古墳時代－』
2004 海老名市教育委員会『秋葉山古墳群発掘調査報告書－第 10～12 次調査－』
2006 川崎市市民ﾐｭｰｼﾞｱﾑ『「弥生・古墳・飛鳥」を考える展 古墳の出現とその歴史』
2006 (財)かながわ考古学財団「「低地遺跡の考古学」－砂州・自然堤防上の調査から導かれる古墳時代の神奈川－」『平成 18 年度発掘調査成果発表会・公開セミナー発表要旨』

■入門書■

国立歴史民俗博物館　「古墳の語る古代史」『歴博ブックレット』⑥　白石太一郎
東京美術　『古墳時代の知識』　岩崎卓也
東京美術　『古墳の知識Ⅰ(墳丘と内部構造)』　白石太一郎
東京美術　『古墳の知識Ⅱ(出土品)』　村井嵓雄 他
東京大学出版会　「三角縁神獣鏡」『UP 考古学選書』　近藤喬一
雄山閣　「東国の古墳」『季刊考古学』別冊３　大塚初重
雄山閣　「前方後円墳の出現」『季刊考古学』別冊８　石野博信

古墳の形



墳丘の状態

長野県　森将軍塚古墳

墳丘の状態

伊勢原市 小金塚古墳

長野県　森将軍塚古墳

埋葬施設（竪穴系）

眉庇付冑
＝
三角板
鋲留短甲

横浜市　朝光寺原１号墳

副葬品

平塚市　真土大塚山古墳

6 三角縁四神二獣鏡（平塚市真土大塚山古墳　径22.1cm）

7 神像（上）

8 神像（下）

9 獣形（右）

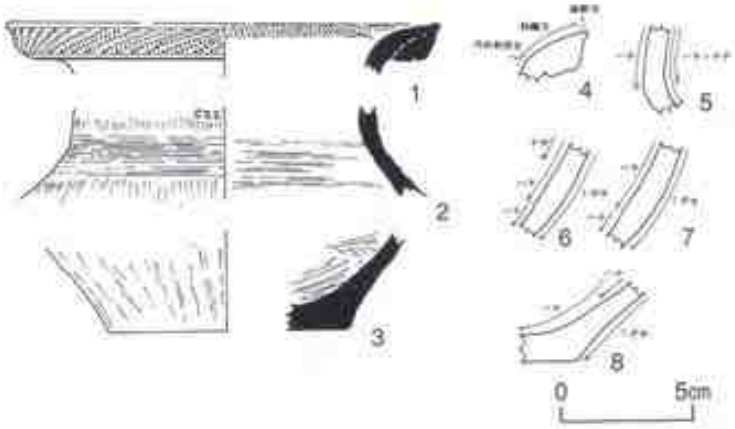
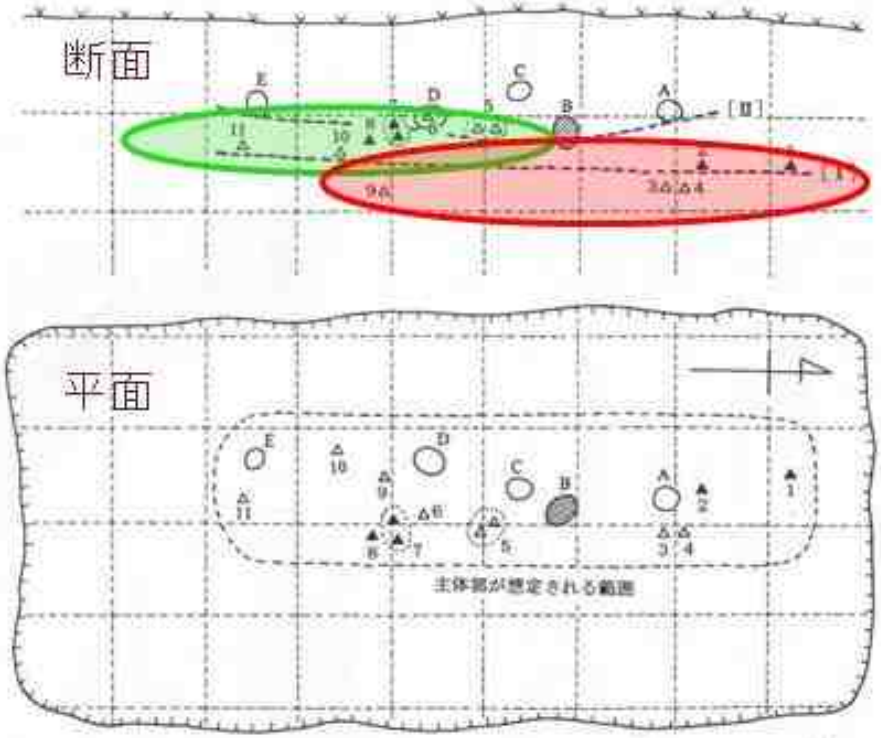


図106　墳丘出土の土器（本村　1974）



図中のA～Eは土器片、黒印・斜線部は1935年出土、
他は1936年出土

1.刀片　2.鏡　3.銅鏃　4.管玉　5.銅鏃　6.巴形銅器
7.銅鏃　8.巴形銅器　9.刀子片　10.刀片　11.巴形銅器

図96　昭和11年報告の主体部模式図（石野　1936、関根　1997）

平塚市
真土大塚山古墳

真土大塚山と同笵鏡

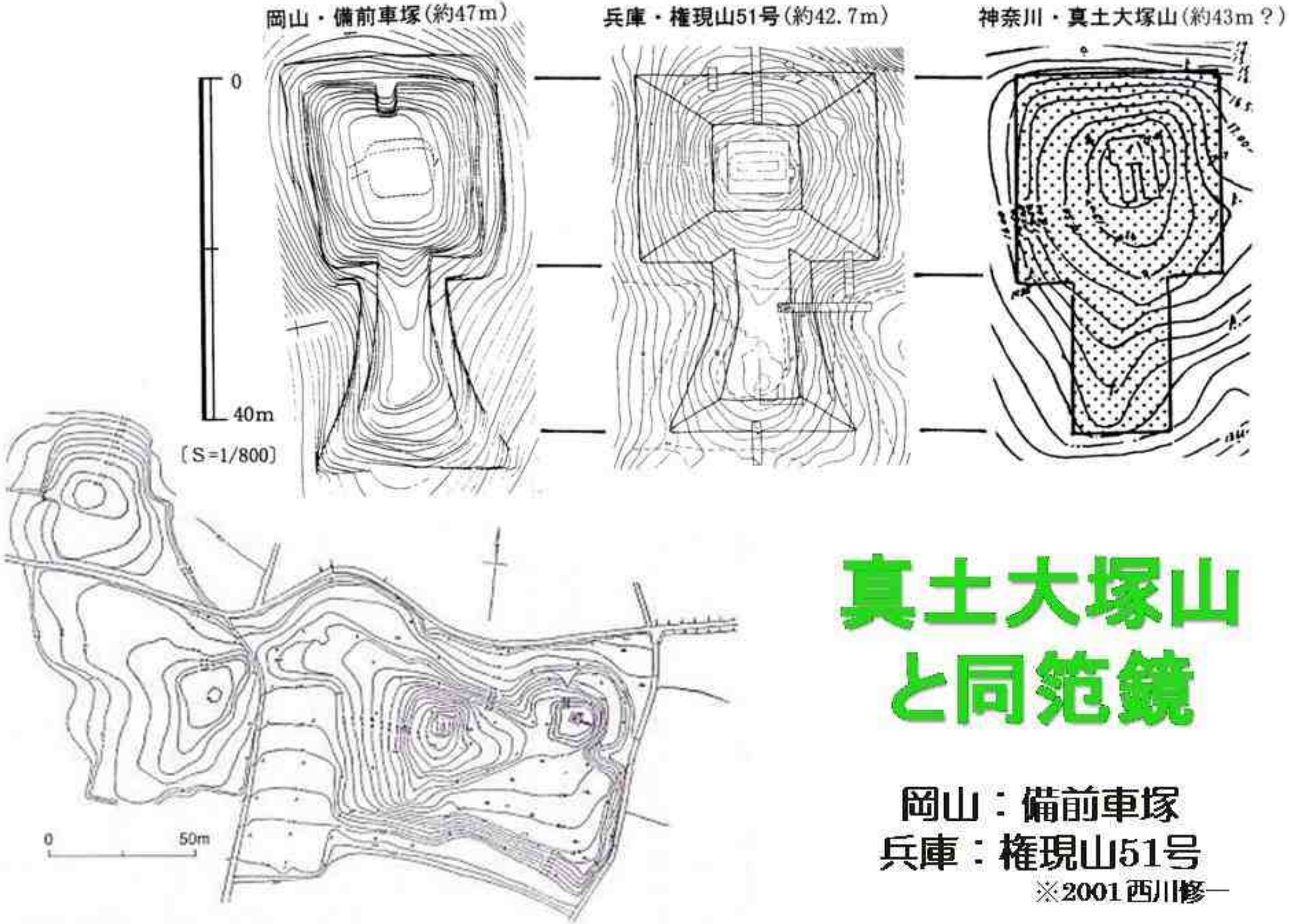


図95　大塚山古墳の墳丘（平塚市教育委員会 1961）

真土大塚山と同笵鏡

岡山：備前車塚
兵庫：権現山51号
※2001西川修一

前期の古墳（出現期）

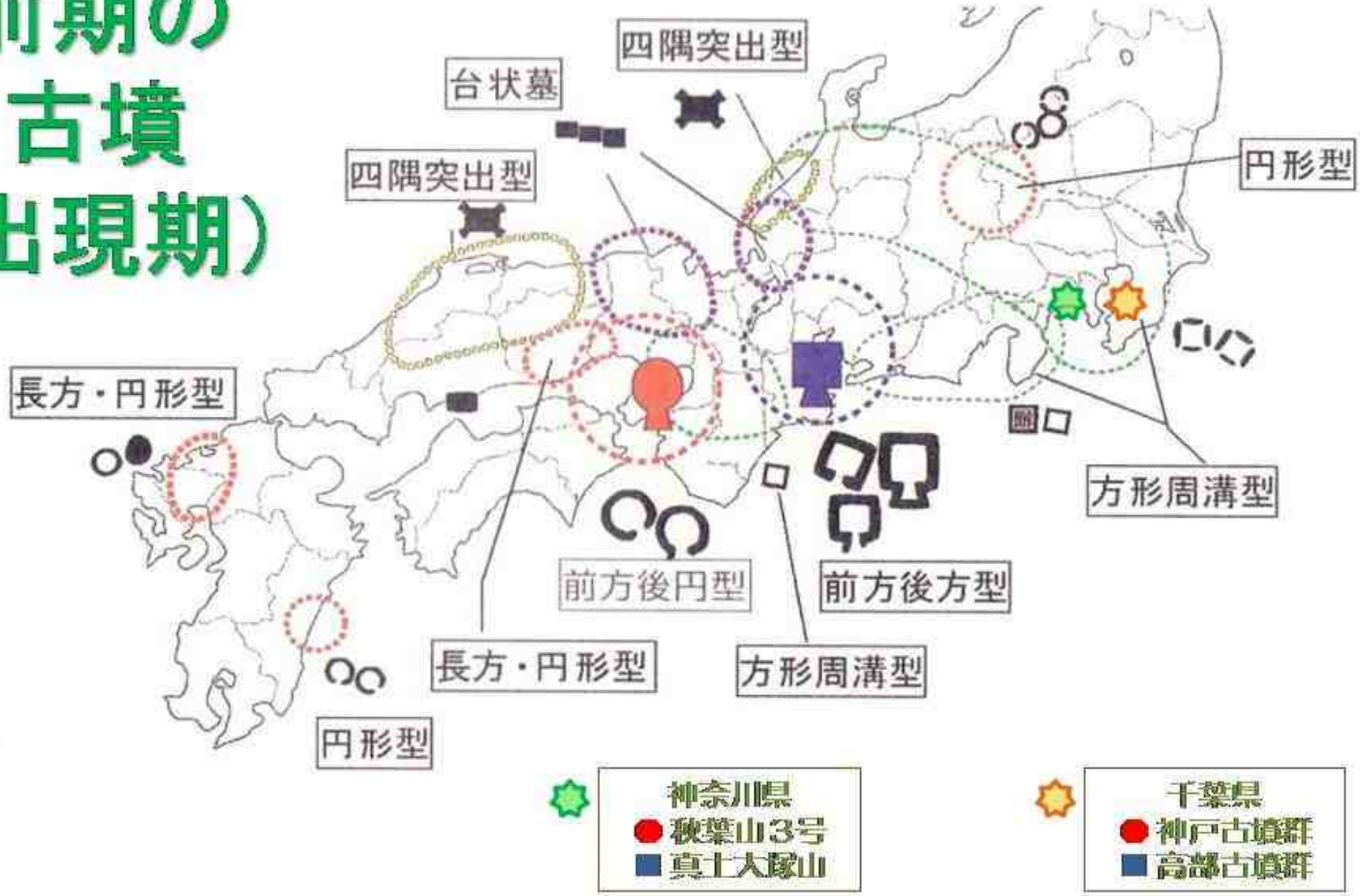


図１　三世紀頃の日本列島各地の墳墓
赤塚2002『AERA Mook古代史がわかる』より作図

第1号墳出土　土器

第1号墳出土　鉄鏃

第3号墳　墳頂部土器出土の様子

第2号墳出土　円筒形土製品

第5号墳出土　土器

秋葉山古墳群について

秋葉山古墳群は今から約1700年前、弥生時代から古墳時代の過渡期に造られた古墳群です。東日本では非常に早くから造られた古墳群であり、特に第3、4号墳は墳丘墓的要素が強いです。

発掘調査の結果から第3・4号墳→第2号墳→第1・5号墳の順に造られたことが分かり、形状も低墳丘で前方後方形の第4号墳、不整形ながら高い墳丘をもつ第3号墳から、より整った第2・1号墳へと変化していく様子が見て取れます。

このように変化が見て取れる古墳群は、東日本地域では大変貴重であり、類例がほとんどありません。近畿地方を中心とした古墳時代の文化が広がる前に、マツリや古墳の造り方などの情報を集め、この地域特有の古墳を造っていたと考えられます。

秋葉山古墳群

長柄桜山古墳群の位置

長柄桜山古墳群
第１号墳

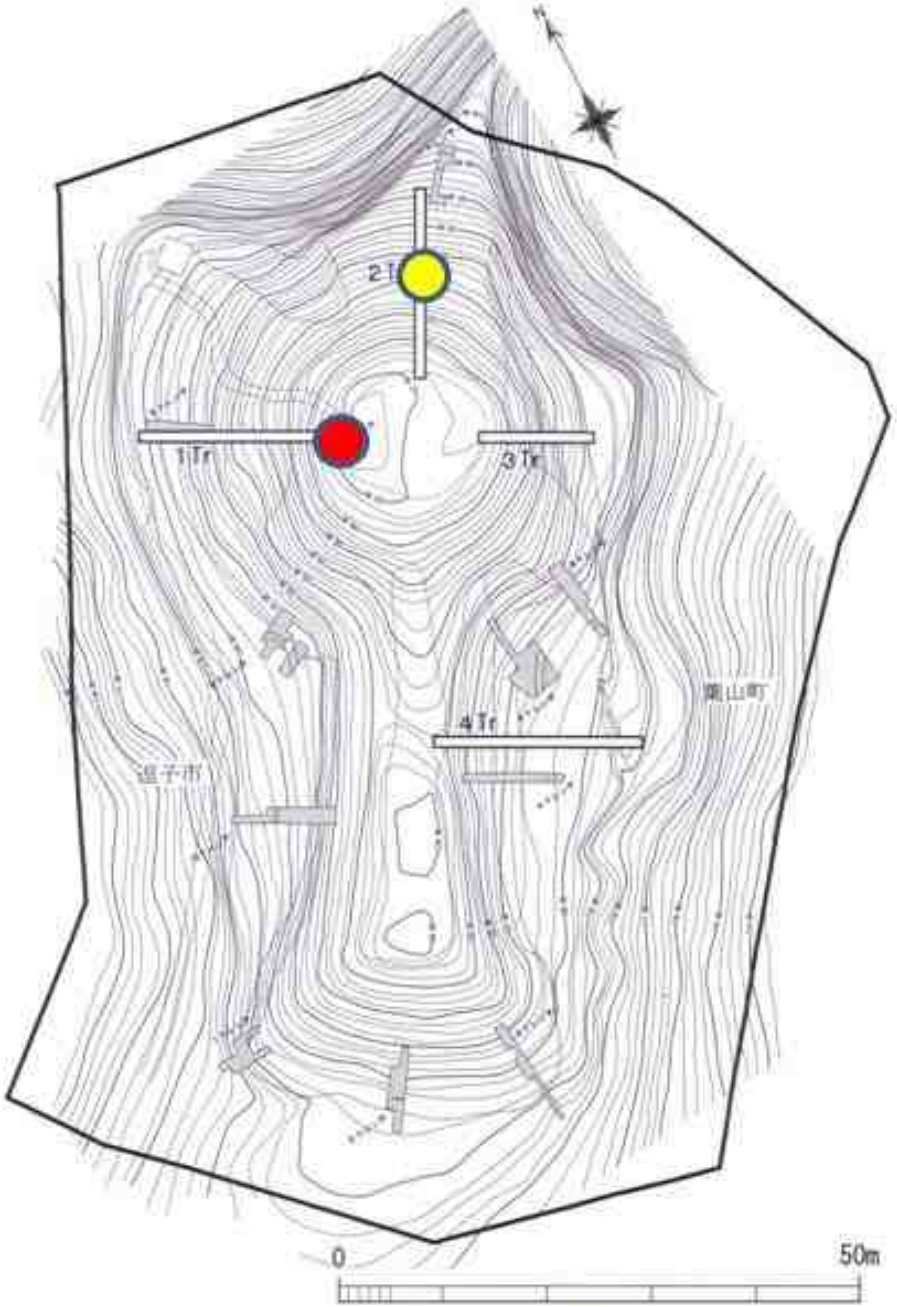
国指定史跡の整備活用に向けた発掘調査
2006年８月：１～４トレンチ

- 後円部三段築成
- 前方部二段築成
- 後円部墳頂：円筒埴輪列
- 墳丘下半：削り出し
- 墳丘上半：盛土
- 墳丘東側？

平成18年度長柄桜山古墳群
発掘調査速報展展示パネル
葉山町教育委員会 山口氏作成

長柄桜山古墳群第１号墳

史跡整備に向けた調査



平成１８年度トレンチ配置図

後円部テラス埴輪出土状況

後円部墳頂部埴輪列出土状況

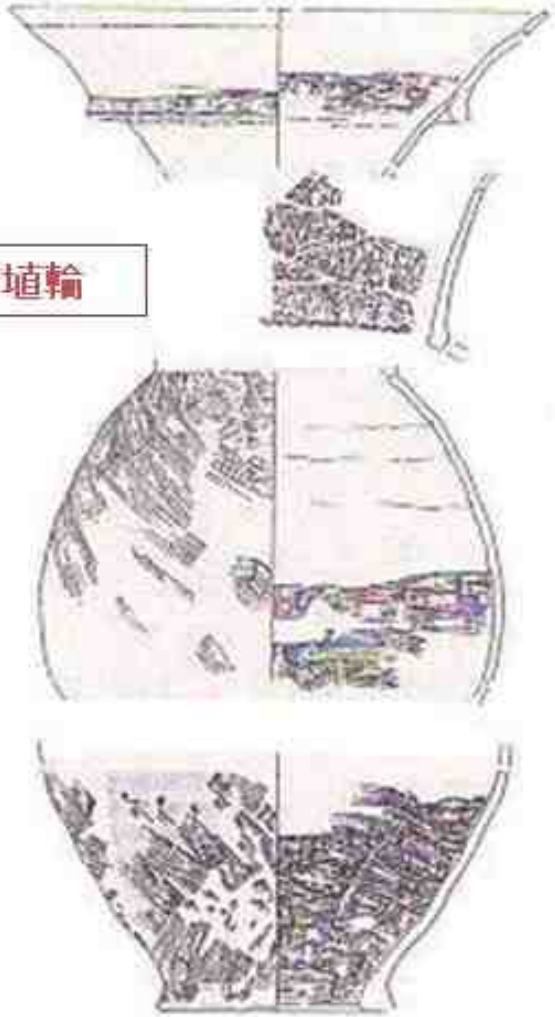
範囲確認調査

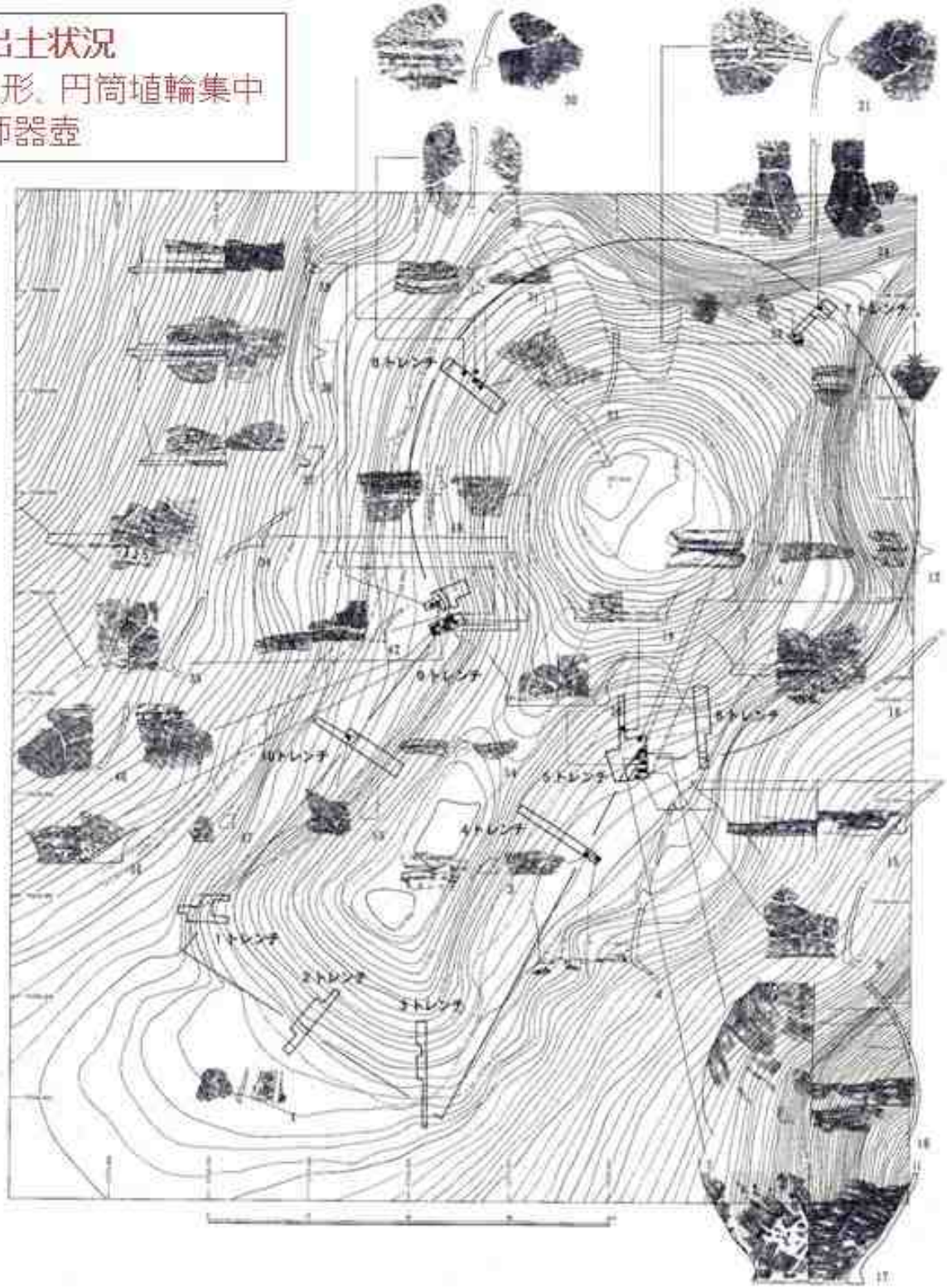
第２号墳１トレンチ葺石検出状況

長柄桜山古墳群第1号墳

古墳裾の遺物出土状況
- くびれ部に壺形、円筒埴輪集中
- 前方部に土師器壺

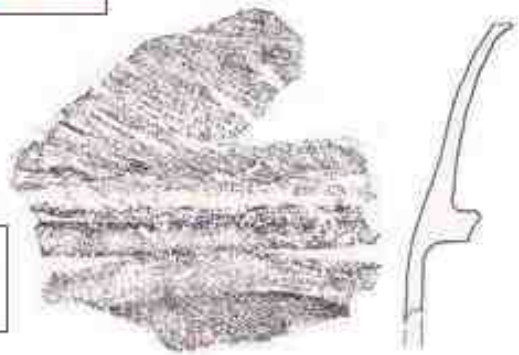
壺形埴輪



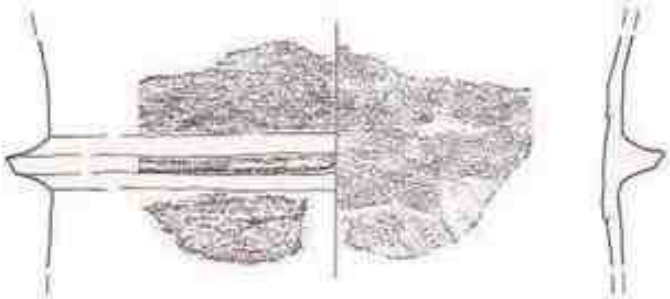


長柄桜山古墳群第2号墳

円筒埴輪

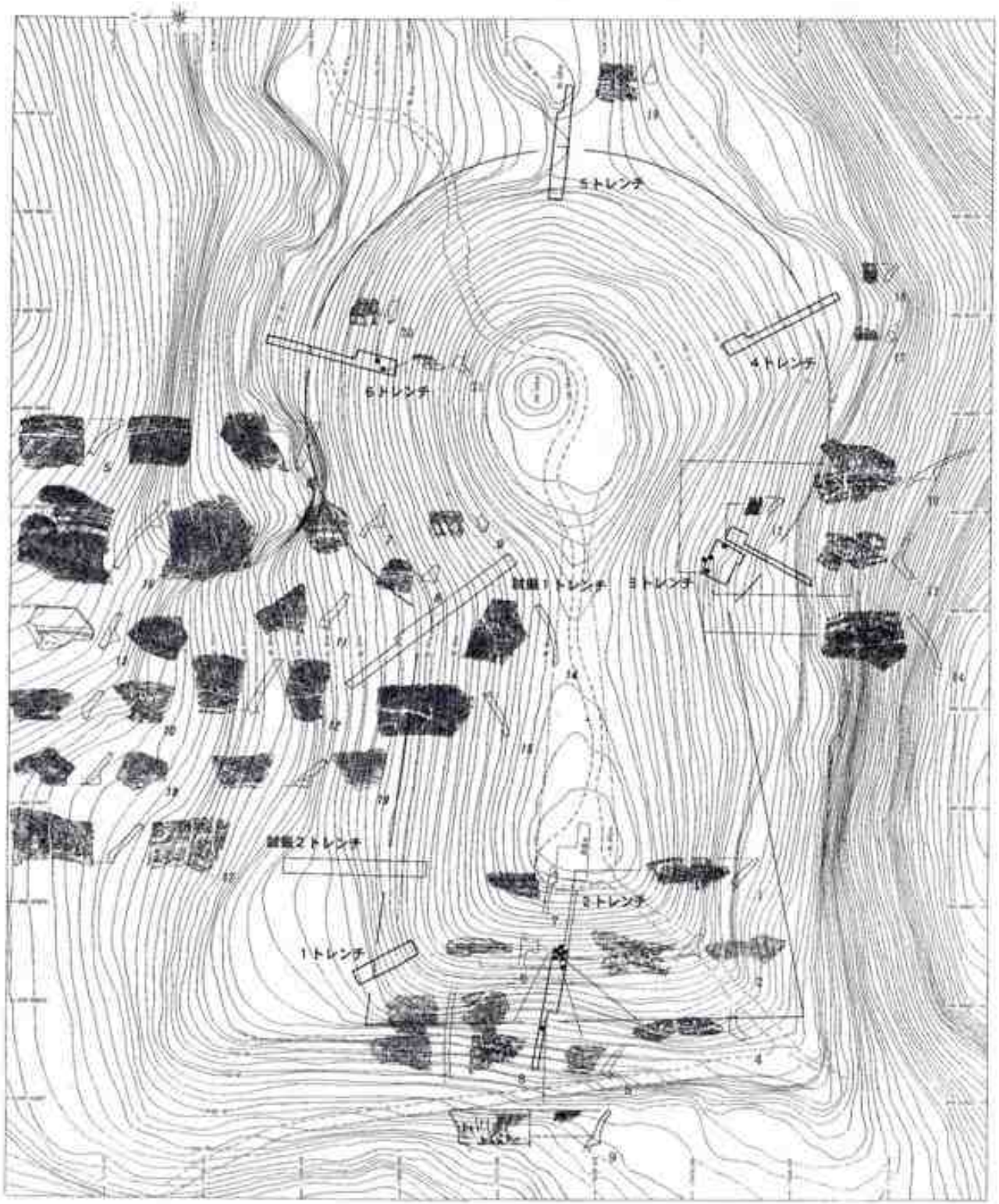


透かし穴
三角か？



古墳裾の遺物出土状況

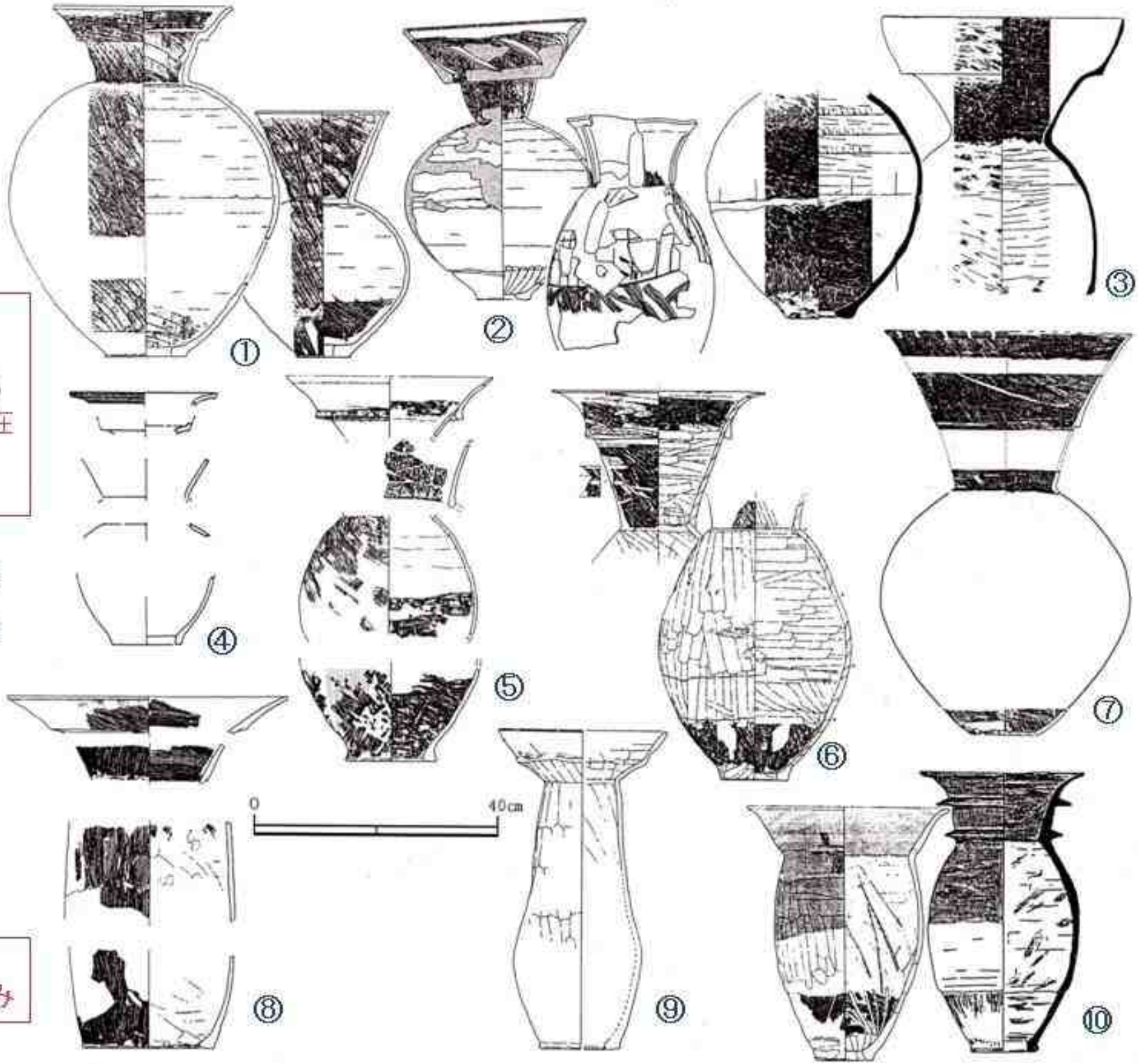
- くびれ部に壺形、円筒埴輪集中
- 前方部に土師器壺



壺形埴輪

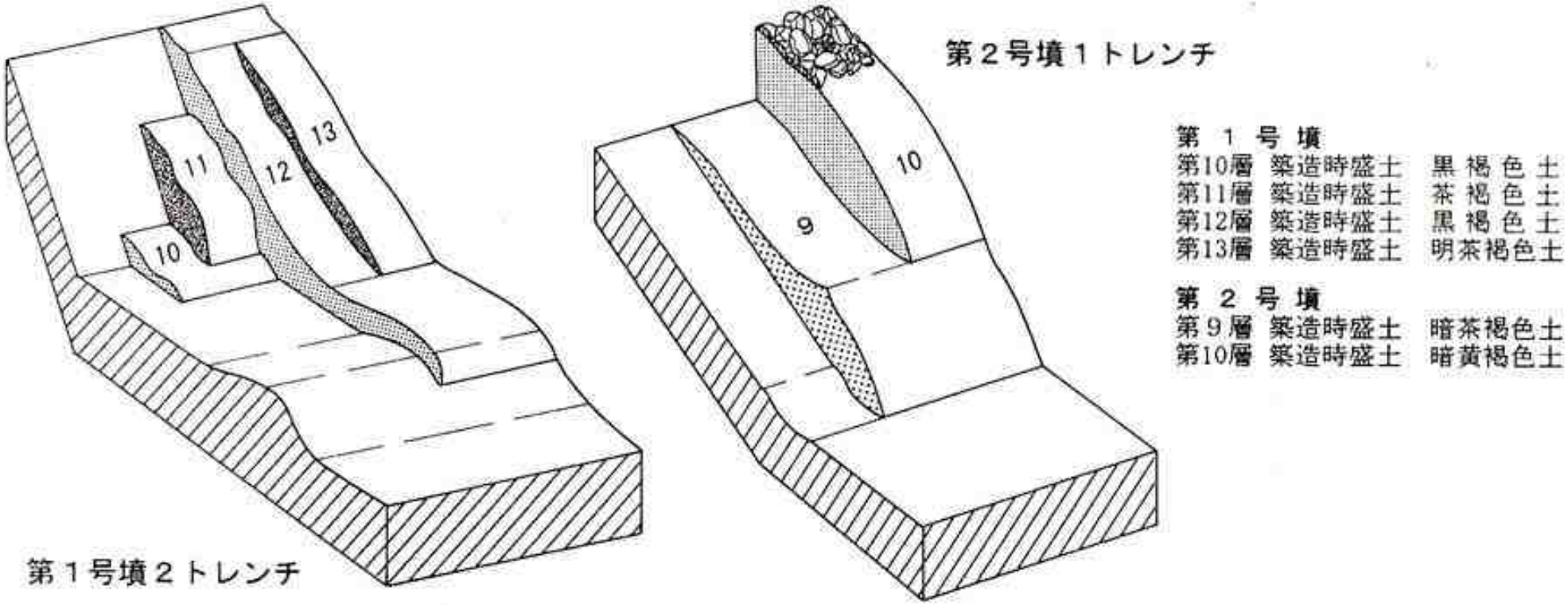
古墳時代壺形埴輪
- 前期後半に多い
- 関東・九州などに多い
- 透かし穴も一部に存在
- 長胴化している
- 長胴化→筒状へ

①埼　玉　三変稲荷神社古墳
②群　馬　堀ノ内DK4号墳
③神奈川　ホウダイ山１号墳
④群　馬　北山茶臼山古墳
⑤神奈川　長柄桜山１号墳
⑥茨　城　上出島２号墳
⑦千　葉　大厩浅間塚古墳
⑧茨　城　車塚古墳
⑨千　葉　鶴塚古墳
⑩埼　玉　川輪聖天塚古墳



※壺形と円筒のセット
関東では長柄桜山のみ

墳丘の造成



第35図 第１・２号墳墳丘築造状況模式図

墳丘の造成について
- 基盤は泥岩による岩盤層
- 古墳の形からはみ出すところは削り、足りないところは盛り土をしている
- 墳裾では、岩盤層ブロック混じりの粘質土を土手状に盛り土している(9層)
- 平成18年度の第1号墳の調査では、墳丘下半が岩盤、上半が盛り土と判明

墳丘規模

第４表　第１・２号墳各計測表

	第１号墳				第２号墳			
軸方位	N－62°－E				N－88°－E			
全長（推定線間）	90m				88m			
後円部径（推定）	51m				54m			
後円部墳頂平坦面径	南北16m、東西17m（126.5mの等高線）				南北15m、東西17m（傾斜変換線）			
前方部長	39m				34m			
前方部前面幅	31.5m				45m			
くびれ部幅	25.5m				約32m			
墳頂間比高差（現況）	3.25m				1.89m（後円部平坦面=0.7m）			
各Tr.墳裾標高	1 Tr.=118.15m	2 Tr.=118.94m	3 Tr.=118.86m	4 Tr.=119.35m	1 Tr.=91.59m	2 Tr.=90.34m	3 Tr.=92.11m	4 Tr.=92.90m
	5 Tr.=119.85m	6 Tr.=119.71m	7 Tr.=122.13m	8 Tr.=120.17m	5 Tr.=93.63m	6 Tr.=91.30m		
	9 Tr.=119.90m	10Tr.=119.37m						
各Tr.葺石端部標高	葺石なし				1 Tr.=92.54m	2 Tr.=94.96m	3 Tr.=93.78m	4 Tr.=93.04m
					5 Tr.=94.70m	6 Tr.=93.35m		
墳裾テラス状平坦面と墳丘頂部（現況）比高差	2 Tr.と前方部頂部＝5.06m・7 Tr.と後円部頂部＝5.12m				2 Tr.と前方部頂部＝8.72m・5 Tr.と後円部頂部＝7.31m			
後円部径と前方部長の主軸上百分比	57：43→６：４				61：39→６：４			
前方部前面幅に占めるくびれ部幅の割合	81.0%				71.1%			
後円部径に占める前方部前面幅の割合	76.5%				83.3%			

墳丘規模について

・神奈川県で現存する古墳のうち、最大規模となる
・第１号墳は前方部が幅狭で低く、第２号墳は前方部が幅広で高い
・墳丘比は6:4で、神奈川県には類例がほとんどない

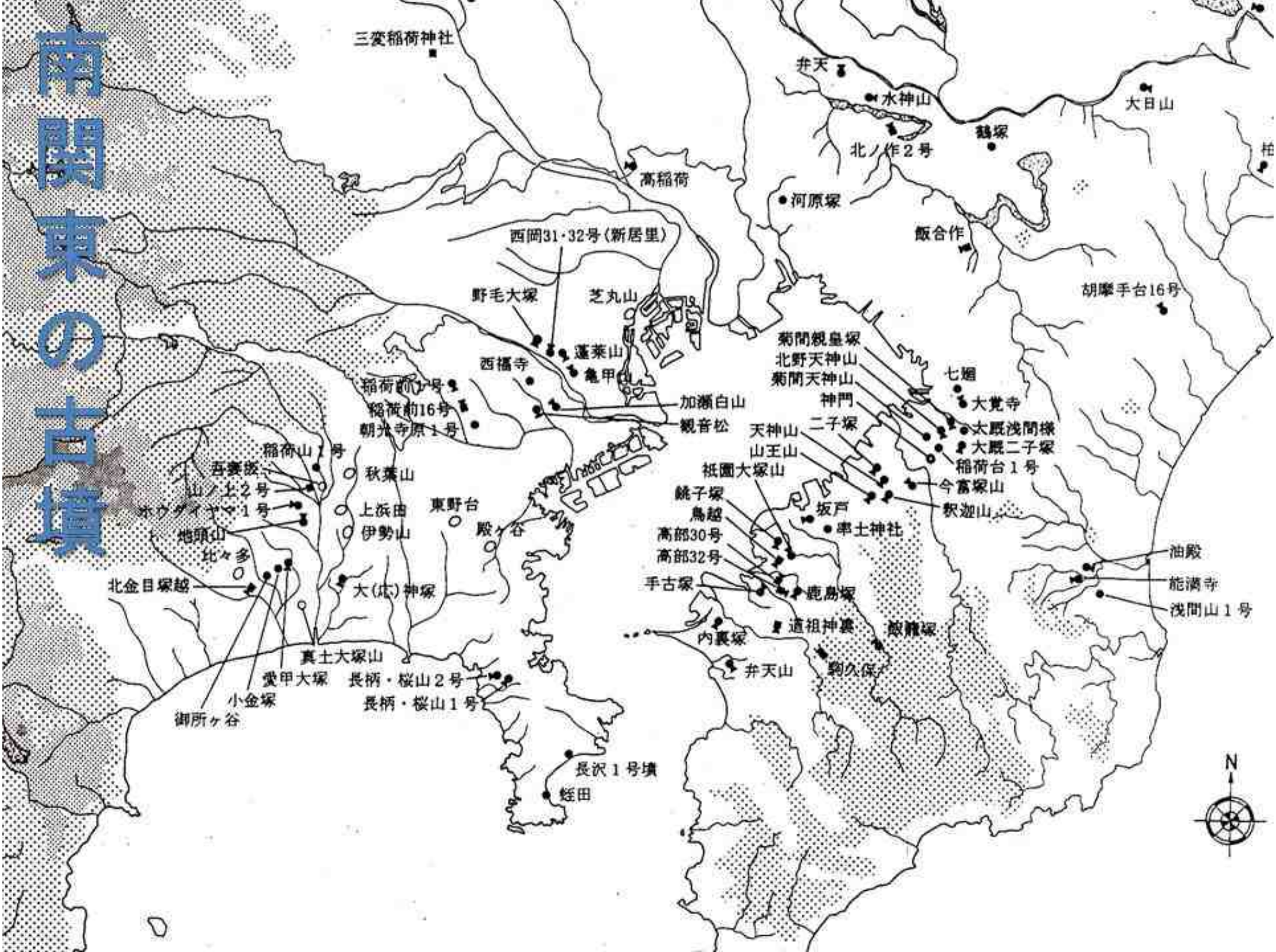
古墳の墳丘比率

比率	所在	古墳名
7：3	神奈川県	秋葉山２号、３号
6：4	神奈川県	長柄桜山１号、２号・殿ヶ谷１号(不明瞭)
	千葉県	釈迦山・今富塚・能満寺・油殿１号・杓子塚・瀧台
5：5	東京都	芝丸山・宝来山・亀甲山(6:4？)
	神奈川県	白山・稲荷前１号、６号・秋葉山１号・瓢箪塚・地頭山・ホウダイヤマ１号・愛甲大塚(6:4？)

相模・南武蔵 → ５：５、７：３
房総 → ６：４

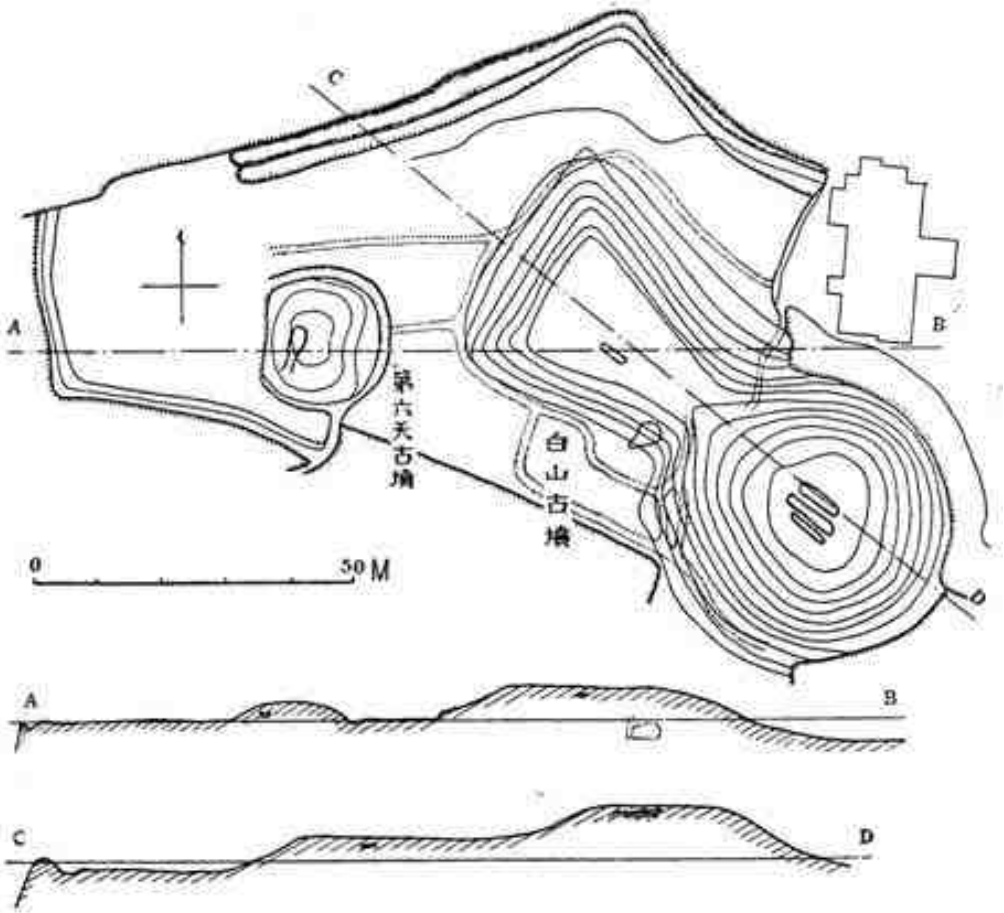
※長柄桜山古墳群は在地勢力による伝統的な築造ではない
※この時期の相模は、５世紀代に大型墳の盛行する房総への礎として、より東方への視点の起点としての意義を担っていた

南関東の古墳

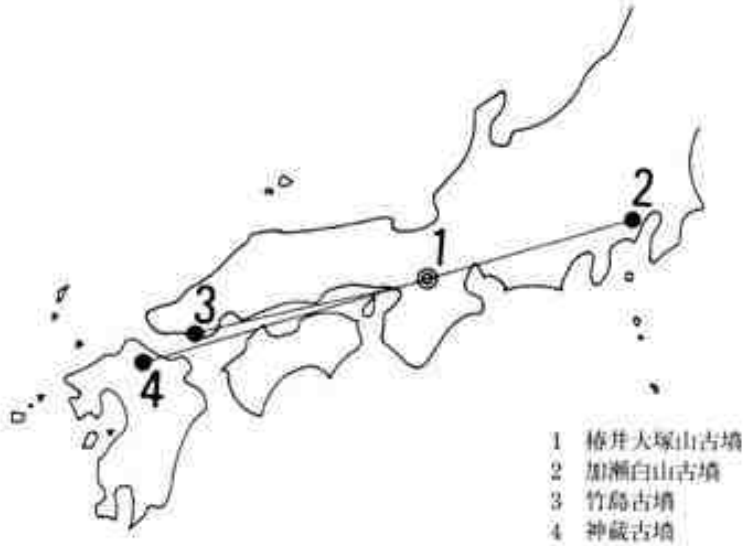

三変稲荷神社
井天
水神山
大日山
鶴塚
北ノ作2号
高稲荷
河原塚
飯合作
西岡31・32号(新居里)
野毛大塚
芝丸山
蓮華山
亀甲山
西福寺
稲荷前1号
稲荷前16号
朝光寺原1号
加瀬白山
観音松
胡摩手台16号
菊間親皇塚
北野天神山
菊間天神山
神門
七廻
大覚寺
大厩浅間様
大厩二子塚
稲荷台1号
天神山
山王山
二子塚
今富塚山
釈迦山
祇園大塚山
稲荷山1号
吾妻坂
山ノ上2号
ホウダイヤマ1号
地頭山
比々多
秋葉山
上浜田
伊勢山
東野台
殿ヶ谷
北金目塚越
大(広)神塚
真土大塚山
愛甲大塚
小金塚
御所ヶ谷
長柄・桜山2号
長柄・桜山1号
長沢1号墳
蛭田
銚子塚
鳥越
高部30号
高部32号
手古塚
坂戸
串土神社
鹿島塚
道祖神裏
内裏塚
井天山
駒久保
油殿
能満寺
浅間山1号
N

いろいろな古墳
加瀬白山

三角縁天王日月獣文帯四神四獣鏡



第5図　白山・第六天古墳実測図

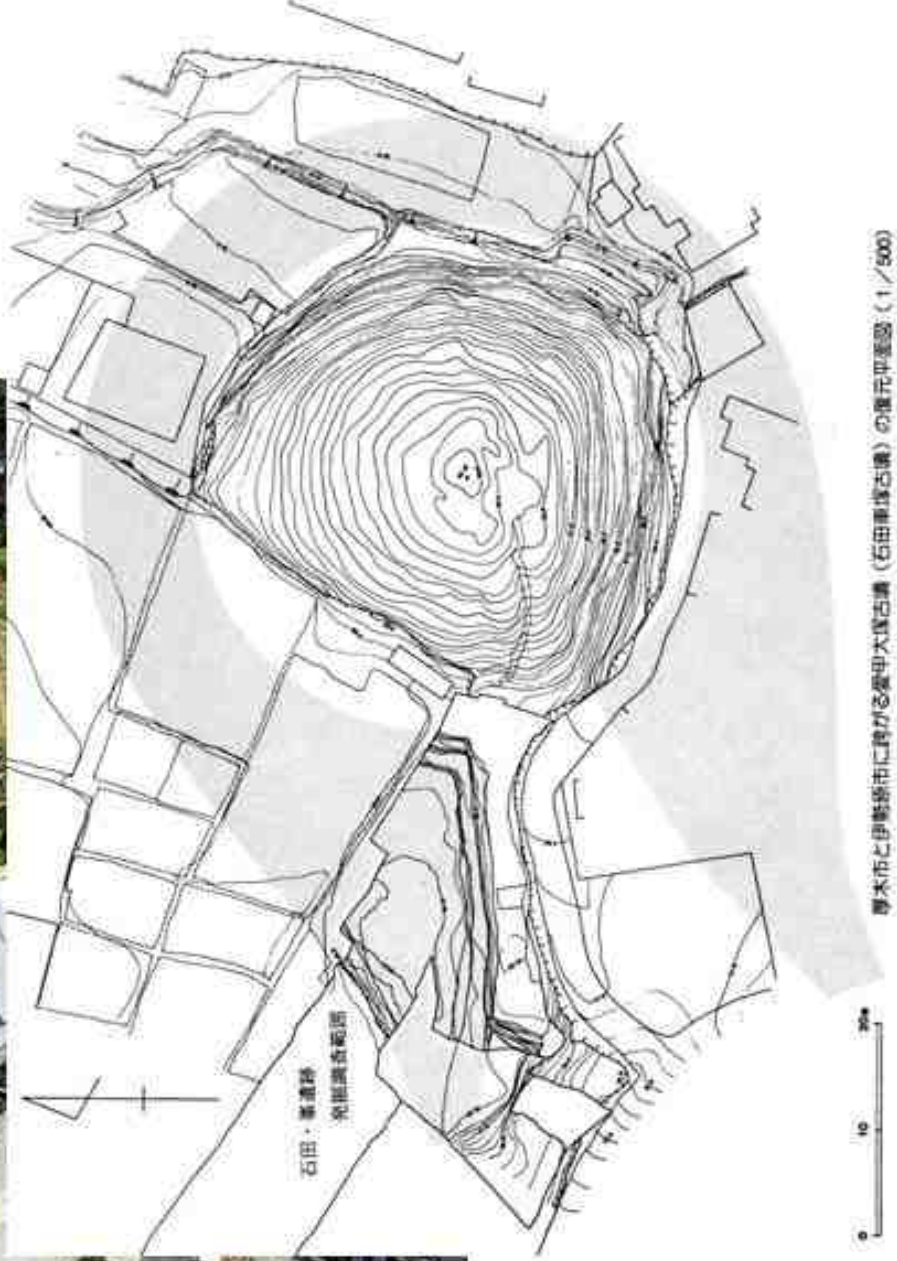


関東の木炭を使用する埋葬施設

竪穴系 埋葬施設の種類　・石槨（竪穴式石室）　・木炭槨　・粘土槨　・土坑（木棺直葬）

No.	所在	古墳名称	墳形	規模（m）	時期	埋葬施設（複数は一例）	埋葬施設の大きさ（m）	備考
1	栃木県那珂川町	駒形大塚古墳	前方後方	60.5	前期前半	木炭槨？	5.4×1.6	両小口に木炭、木炭敷？
2	神奈川県川崎市	加瀬白山古墳	前方後円	87.0	前期中葉	木炭槨	7.5×1.1	埋葬施設4基
3	千葉県長南市	能満寺古墳	前方後円	73.5	前期中葉	木炭槨	7.5×2.0	
4	千葉県市原市	新皇塚古墳	前方後円	80.0以上	前期末	粘土槨（南槨）	9.8×1.0	埋葬施設2基 粘土槨の棺側面・底面に木炭付着
5						粘土槨（北槨）	10.7×0.8	
6	**千葉県佐原市**	**大日山古墳群1号墳**	**前方後円**	**54.0**	**中期前半**	**木炭槨**	**6.0×0.6～1.1**	
7	**群馬県赤堀町**	**赤堀茶臼山古墳**	**帆立貝**	**70.1**	**中期前半**	**木炭槨（南側1号）**	**7.6×—**	**埋葬施設2基**
8						**木炭槨（北側2号）**	**—**	
9	**茨城県ひたちなか市**	**津田西山古墳群1号墳**	**前方後円**	**25.5**	**中期後半**	**木炭槨**	**4.3×1.8**	
10	**群馬県高崎市**	**剣崎天神山古墳**	**円**	**30.0**	**中期後半**	**木炭槨**	**—**	**粘土槨の可能性あり**
11	東京都狛江市	狛江亀塚古墳	帆立貝	48.0	後期初頭	木炭槨（上部）	4.0×1.8	埋葬施設3基 下部木炭槨より後漢鏡出土
12						木炭槨（下部）	4.7×1.3	
13	栃木県足利市	助戸十二天塚古墳	円？	18.0	後期前半	木炭槨	6.0×1.5	
14	栃木県大平町	七廻り鏡塚古墳	円	28.0	後期前半	木炭床	5.5×1.0（舟形木棺長）	埋葬施設2基
15	埼玉県川越市	下小坂古墳群1号墳	円	31.0	後期前半	木炭槨	3.3×0.4	
16	埼玉県朝霞市	一夜塚古墳（跡）	円	36.0	後期前半	木炭槨	—	
17	埼玉県春日部市	内牧塚内古墳群4号墳	方	21.0	後期前半	木炭槨	—	埋葬施設4基
18	埼玉県杉戸町	目沼古墳群9号墳	円	—	後期	木炭槨	—	

いろいろな古墳
愛甲大塚



厚木市と伊勢原市に跨がる愛甲大塚古墳（石田東塚古墳）の復元平面図（1／500）
東海大学文学部考古学研究室1999に石田・東遺跡の調査成果を合成して作製

いろいろな古墳

神奈川県　海老名市

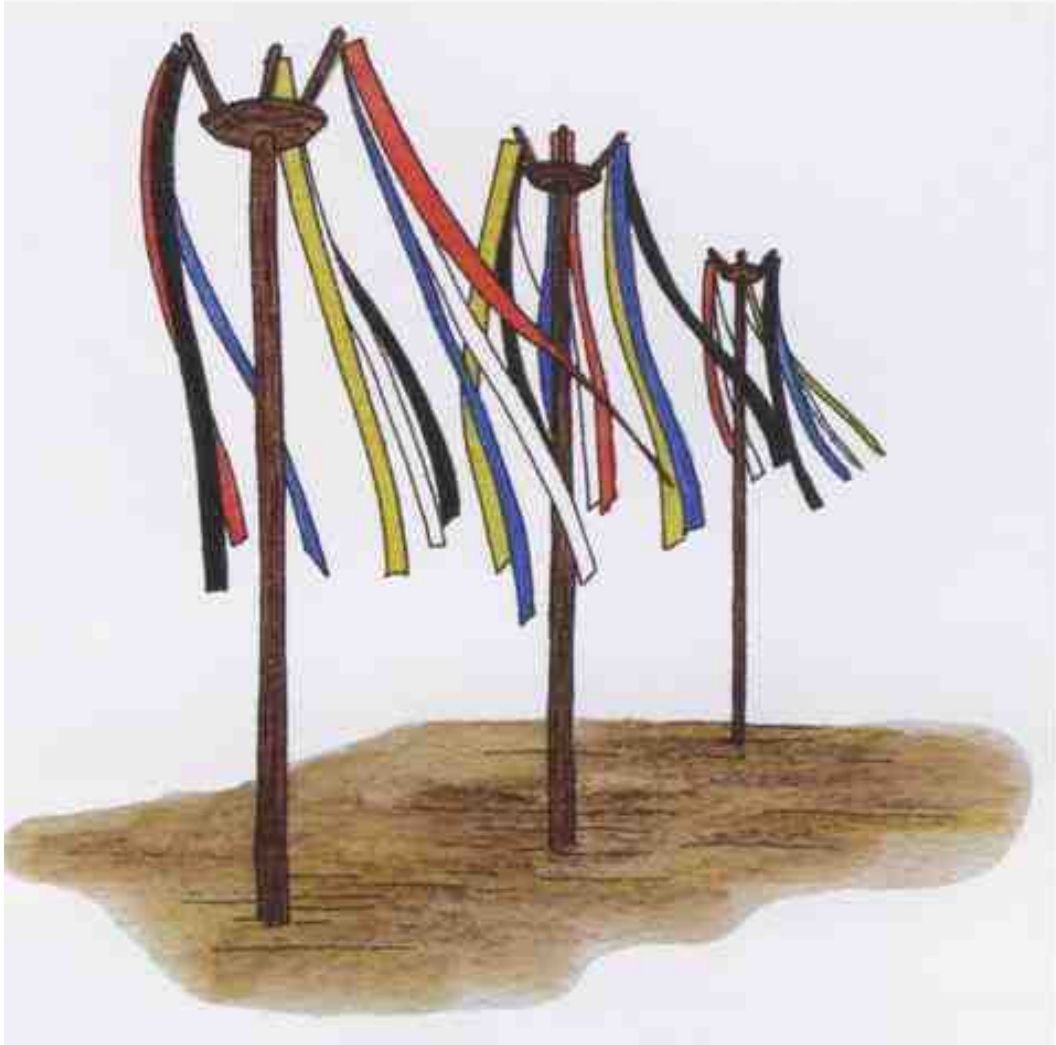
社家宇治山遺跡

弥生後期～古墳前期

古墳中期

いろいろな古墳
甲斐銚子塚

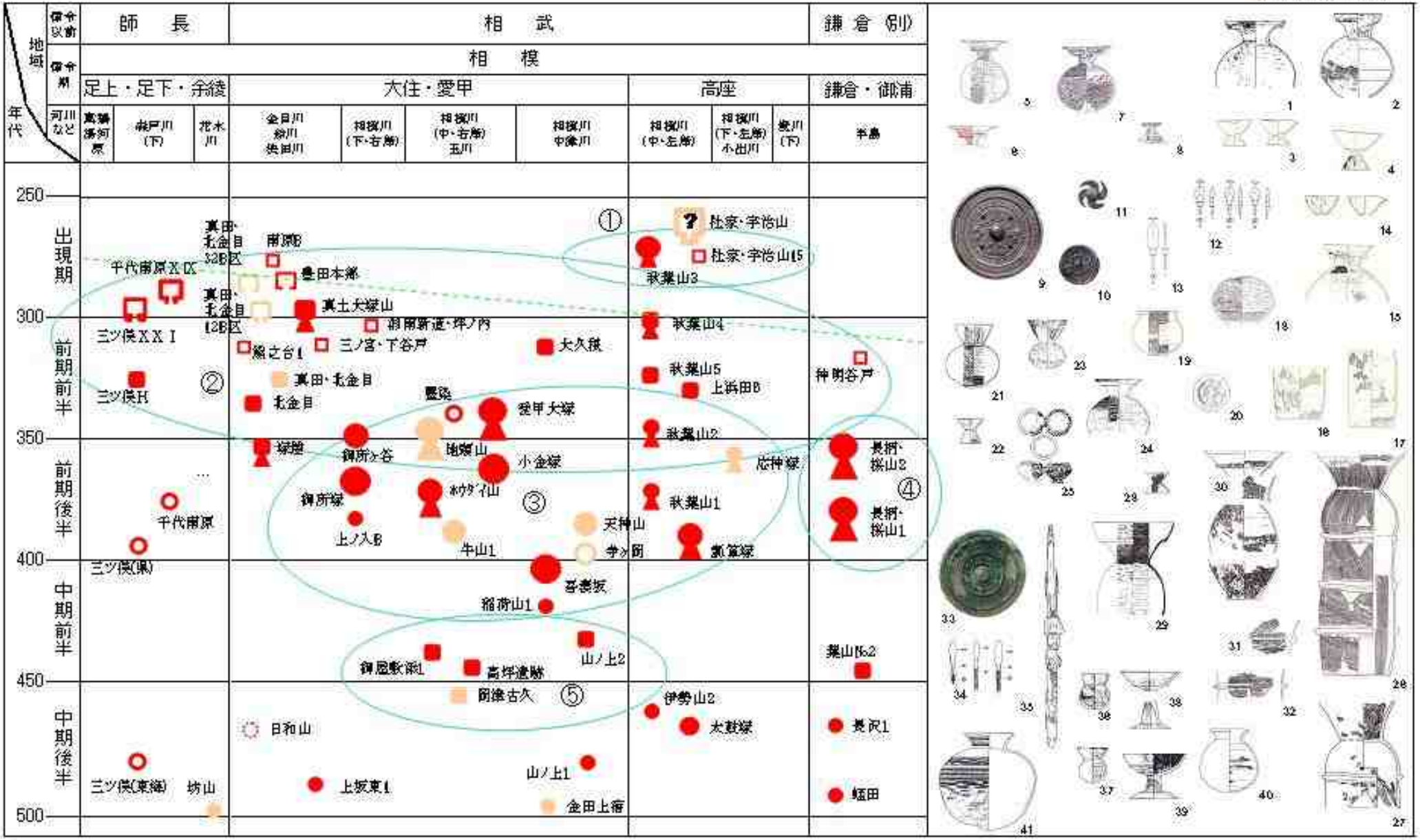
木製祭祀具使用イメージ



木製祭祀具出土状況

甲斐銚子塚

相模の前期・中期主要古墳編年



1～4 秋葉山3号墳　5 三ツ俣遺跡XXI地点　6 三ツ俣遺跡H地区　7 南原B遺跡　8 豊田本郷　9～13 真土大塚山(9 三角縁四神二獣鏡・径22.1cm；10 変形四獣鏡・径7.8cm)　14～17 秋葉山2号墳
18 下依知大久保遺跡 19 愛甲大塚古墳　20 応神塚古墳(内行花文鏡・径約10cm)　21・22 塚陸古墳　23～25 御所ヶ谷遺跡　26・27 小金塚古墳　28・29 ホウダイ山　30～32 長柄桜山1号墳
33～35 菖蒲坂古墳(四獣形鏡・径19.1cm)　36～40 山ノ上2号墳　41 ひより山古墳